

【健育会グループの病院・施設で働いて感じた 仕事のやりがい】

職種：看護助手 勤続年数：21年5ヶ月

時期：令和2年12月

大変なご時世

先日、患者さんに「この病院で一人もコロナが出ていないのが不思議」と言われました。別の日に、別の患者さんにも同じような事を言われました。

日本中で毎日増えていくコロナ陽性者、、、いつだれが罹ってもおかしくない状況の中、茅ヶ崎セントラルクリニックは外来透析というリスクの高い患者さんが通われる場所です。患者さんは勿論、スタッフも一人一人が自分の立場を理解した上で、旅行や会食等、そして勤務中の食事、院内での消毒等に十分気を配り、このご時世を乗り切ろうと一致団結で当たっています。出入口全てにアルコールの噴霧装置を備えました。患者さん以外に来院される仕入れ業者の方、廃棄物処理業者の方、透析部材商社の方やメーカーの方、またこの頃始まった治験関係の方など多くの方がいらっしゃいますが、検温とアルコール消毒、密にならない環境作りでコロナの侵入を防いでおります。

他の病院も今まで以上に大変な職務をされていると思いますが、うちは外来透析という大きなリスクを抱えている患者さんの為に皆が一丸となり、頑張っている事にやりがいを感じます。